

深谷市誕生10周年記念事業は 記念事業はどんなことを行うか。
ふかや市議会だよりは、点字版とテープ・CD版も発行しています。送付を希望される方は市社会福祉協議会（〒E1-573-6563）へお連絡ください。



吉野川陥没箇所（復旧工事後）

●主な行事（平成27年1月～3月）

1月	2月	3月
日曜 行事内容	日曜 行事内容	日曜 行事内容
8 木 深谷商工会議所新春賀詞交歓会	2 月 議会だより視察受入れ ●山梨県甲斐市 ●静岡県藤枝市 ●千葉県松戸市	3 火 総務委員会 4 水 市民産業委員会 5 木 福祉文教委員会 6 金 環境都市委員会 11 土 一般質問、議員全員協議会 12 木 一般質問 13 金 総務委員会 14 土 中学校卒業式 17 火 議会閉会、議員全員協議会 24 火 小学校卒業式
11 日 深谷市成人式	9 月 深谷同志会行政視察～10日 農商工連携・6次産業化推進ネットワーク事業について 戸定歴史館を活用した街づくりについて 議会運営委員会 議会開会、議案説明 議案質疑	
23 金 ふかや市商工会新春賀詞交歓会	16 月 月 平成27年度末目途に新駅等対応する。 23 金 27 金	



市民の負託に応える
ため、議論・審議を
重ねた26人です。
（平成27年3月17日撮影）

Q 一級河川吉野川危険箇所修復

A 即刻、対応改善した

永田 勝彦

問 一級河川吉野川陥没改善を。
答 危険である。即刻対応した。

問 川本地区春日丘養豚場悪臭困窮苦慮
答 適正管理を強く求めていく。

問 深谷地酒で乾杯条例制定
答 日本の文化と言える日本酒、地産地消の観点から、市は「ちよこたび埼玉酒蔵巡り～深谷市」等開催。

問 秩父鉄道明戸駅周辺開発は
答 住宅開発や様々な事業を考慮し、有効利用を図るべく頑張ることのこと。

問 空き家見守り協定とは
答 空き家の火災発生、犯罪が起こらないよう、対策はしっかりと頑張る。

問 記念事業はどんなことを行うか。
答 深谷市誕生10周年記念事業は、記念事業はどんなことを行うか。

Q 市がアウトレット誘致に50億円の税金を投入する訳は

A 「初期投資を抑え」、進出する企業を確保するため

問 アウトレットを誘致するために、深谷市が犠牲を払うとしか聞こえないが、市が造成までしないと企業が来ない場所なのか。

答 企業誘致の一環として、市が造成を持つことで、企業の初期投資を抑えることができ、継続的な経営ができるやすくなる。

問 市が企業誘致において、転貸借成費を持つことで、企業の初期投資を抑えることができ、継続的な経営ができるやすくなる。

問 そうした事例はない。

問 造成まで市が負担しないと、企業が進出しないとの判断は。

答 初から、市が土地を借りて民間に貸出す手法であった。提案のあつた2社とも、対話会の中で造成が条件であれば公募への参加は厳しいと言っていた。

問 話が逆で、市が造成しないと進出が難しいという話が水面下ではじめにあったのではないか。

答 募集要項を公表し、希望する企業と対話会を実施している。

問 農業振興と観光は具体的な提言がなく1年半が経過しているが。

答 現在、構想を策定中である。

問 広く市民に意見を聞くのか。

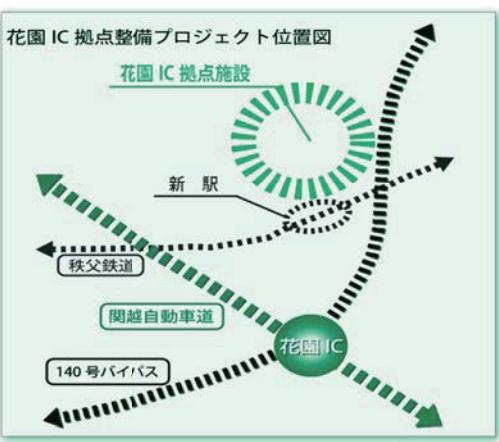
答 地域対話会で市長自ら説明していることから、改めて行わない。

問 金投入の話はしていないが、税金投入の話はしていないが。

答 事業費50億円も公開している。

問 いつ公開したのか。

答 本日の新聞に掲載されている。



Q まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部の取組みは

A 本年1月30日戦略推進本部を設置2回の会議を開催

問 市長を本部長、副市長・教育長を副本部長および部長級のメンバー構成だが、「産・学・官」に加え、「金・労・言」、住民代表の参画が必要。

答 総合戦略は行政単独で策定できるものではなく、多様な主体の参画を得て実効性を伴った形で策定していく。

問 国は政策パッケージを用意しているが、地方の自主性が尊重されるべき。

答 基礎自治体として地域特色、地域資源活用、住民に身近な施策が必要であり、広がりのある施策を展開する。

問 花園産業拠点整備事業は国の基本計画と共通する部分が多く、総合戦略に位置づけることはできないか。

答 雇用、農業や観光施策との連携、近隣自治体との連携による県北地域全体の活力を伸ばす施策として検討しており、総合戦略への位置づけは可能と考えている。

問 地域消費喚起・生活支援型・地方創生先行型の取り組み状況は。

答 履用、農業や観光施策との連携、近隣自治体との連携による県北地域全体の活力を伸ばす施策として検討しており、総合戦略への位置づけは可能と考えている。

問 深谷市の検討内容について

答 交付金を活用して、「プレミアム付商品券発行支援事業」と「多子世帯向け商品券支給事業」を、また、地方創生先行型交付金活用について、12事業の実施を検討している。

問 容器包装プラスティック資源化は現在、熊谷市、深谷市、寄居町の各清掃担当と大里広域市町村圏組合が協議する場として、随時、担当課長会議を開催している。分別収集について費用対効果、先進地事例を踏まえ、より良い方法を研究している。

